

高校 (B)

草書

初心不可忘

しよしん

わするべからず

大平恵理書



初心忘れるべからず。ものごとを始めた時の気持ちをお忘れずに努力を続けよう、との意味。室町時代の猿楽師の世阿弥（ぜあみ）の書いた「花鏡」で、猿楽（現在の能）を続けていくうえで、いましめるべき3つの「初心不可忘」を挙げています。

日本書字文化協会

高校 (B)

草書

初心不可忘

しよしん

わするべからず

大平恵理書



初心忘れるべからず。ものごとを始めた時の気持ちをお忘れずに努力を続けよう、との意味。室町時代の猿楽師の世阿弥（ぜあみ）の書いた「花鏡」で、猿楽（現在の能）を続けていくうえで、いましめるべき3つの「初心不可忘」を挙げています。

日本書字文化協会